

鋼製地中連続壁関係資料一覧

資料 No	資 料 名
1	中澤亨、浅利城太郎、伊勢寿一、沖本真之：鋼製連続地中壁の実証施工、土木施工31巻10号、1990. 10
2	沖本真之、藤井康盛、河原繁夫：有孔鋼製エレメント合成構造に関する実験的研究(その1)、一曲げ耐荷性能一、土木学会第46回年次学術講演会第I部門、1991. 9
3	藤井康盛、沖本真之、河原繁夫：有孔鋼製エレメント合成構造に関する実験的研究(その2)、せん断耐荷性能一、土木学会第46回年次学術講演会第I部門、1991. 9
4	田崎和之、龍田昌毅、沖本真之、河原繁夫：基礎工におけるニューフロンティア、土留めにおける先端技術の応用とその動向、省力化、スペースの都市型鋼製地中連続壁、基礎工1992. 1
5	下田修、気仙哲夫、田崎和之：特集・地中連続壁工法、鋼製連壁工法による大深度山留壁の施工、土木技術47巻2号1992. 2
6	山崎勉、気仙哲夫、田崎和之、田鎖隆：大深度山留め壁の施工と計測(その1)、(鋼製連続地中壁の施工)、日本建築学会大会学術講演、1992. 8
7	八重樫光、下田修、長谷幸一：大深度山留め壁の施工と計測(その2)、(鋼製連続地中壁山留めの計測)、日本建築学会大会学術講演、1992. 8
8	平井孝典、橘大介、田中慎一、河原繁夫、小門武：鋼製連壁(透過型)における水中コンクリートの充填性実験、土木学会第47回年次学術講演会第VI部門、1992. 9
9	石原公明、早川雅彦、田中猛、田崎和之、龍田昌毅：鋼製連壁(継手透過型)における水中コンクリートの充填性実験、土木学会第47回年次学術講演会第VI部門、1992. 9
10	田中慎一、中原邦昭、渡辺俊雄、田崎和之、河原繁夫：鋼製エレメント接合部における端部処理実験、土木学会第47回年次学術講演会第VI部門、1992. 9
11	前孝一、西海健二、河原繁夫、長澤保紀：開孔を有するH形鋼とコンクリートとの合成構造の力学性状(その1)、曲げ性状、土木学会第48回年次学術講演会、1993. 9
12	沖本真之、広沢規行、河原繁夫、長澤保紀：開孔を有するH形鋼とコンクリートとの合成構造の力学性状(その2)、せん断性状、土木学会第48回年次学術講演会、1993. 9
13	葛拓造、広沢規行、河原繁夫、長澤保紀：開孔を有するH形鋼とコンクリートとの合成構造の力学性状(その3)、RC梁との接合部の性状、土木学会第48回年次学術講演会、1993. 9
14	宮崎太、酒井邦登、渋沢重彦、河原繁夫、龍田昌毅：鋼製地中連続壁の中詰めコンクリートおよび鋼材のひずみ、一中詰めコンクリートを有する鋼製地中連続壁の水平方向はり曲げ試験(その3)一、土木学会第48回年次学術講演会、1993. 9
15	渋沢重彦、酒井邦登、宮崎太、広沢規行、龍田昌毅：面外曲げを受ける鋼製地中連続壁のひびわれおよび破壊状況、一中詰めコンクリートを有する鋼製地中連続壁の水平方向はり曲げ試験(その2)一、土木学会第48回年次学術講演会、1993. 9
16	酒井邦登、渋沢重彦、宮崎太、葛拓造、龍田昌毅：鋼製地中連続壁の水平方向はり曲げ試験の概要、一中詰めコンクリートを有する鋼製地中連続壁の水平方向はり曲げ試験(その1)一、土木学会第48回年次学術講演会、1993. 9

資料 No	資 料 名
17	龍田昌毅、田崎和之、河原繁夫、広沢規行、水谷善行：鋼製地中連続壁(NS-BOX)と床版接合部の強度試験、土木学会第48回年次学術講演会、1993. 9
18	水谷善行、龍田昌毅、河原繁夫、田崎和之、広沢規行：鋼製地中連続壁と床版接合部の設計法に関する考察、土木学会第48回年次学術講演会、1993. 9
19	田崎和之、石田宗弘、河原繁夫、龍田昌毅：鋼製連壁部材(NS-BOX)の実大曲げ試験、土木学会第48回年次学術講演会、1993. 9
20	石原公明、田中猛、谷口裕史、田崎和之、龍田昌毅：鋼製地中連続壁実大規模コンクリート充填試験の概要、土木学会第48回年次学術講演会、1993. 9
21	地下鉄7号線後楽園駅地下連続壁工事、日経コンストラクション、1993. 6
22	松田輝雄、桑田幸男：地下鉄南北線(仮称)後楽園駅建設工事、土木施工34巻9号、1993. 9
23	田中猛：Development and Application of Steel Diaphragm Wall Method、東南アジア海洋セミナー、1992. 10
24	小椋進、向中野等：立坑工事に採用した鋼製地中連続壁工法について、平成5年度施工技術報告会(土質工学会、土木学会、日本建築機械化協会)、1994. 1. 20
25	酒井邦登、毎田敏郎、広沢規行、龍田昌毅：中詰めコンクリートを有する鋼製地中連続壁の2方向版利用の可能性、土質工学会「土と基礎」平成6年3月号、1994. 3
26	田崎和之、広沢規行、古部浩、中澤亨：Development of Steel Diaphragm Wall Method、International Congress of Tunnelling and Ground Conditions、1994. 4
27	田崎和之、龍田昌毅、広沢規行、今福健一郎：鋼製地中連続壁の水平方向合成構造梁の力学性状(その1)、曲げ性状、土木学会第49回年次学術講演会、1994. 9
28	広沢規行、今福健一郎、龍田昌毅、石田宗弘：鋼製地中連続壁の水平方向合成構造梁の力学性状(その2)、せん断性状、土木学会第49回年次学術講演会、1994. 9
29	龍田昌毅、田崎和之、石田宗弘、田中猛、谷口裕史：鋼製地中連続壁工法コンクリート充填実験、土木学会第49回年次学術講演会、1994. 9
30	酒井邦登、渋沢重彦、勝木太、広沢規行、龍田昌毅：鋼製地中連続壁の水平方向曲げ耐力の評価、一中詰めコンクリートを有する鋼製地中連続壁の水平方向はり曲げ試験(その4)―、土木学会第49回年次学術講演会、1994. 9
31	渋沢重彦、酒井邦登、勝木太、広沢規行、龍田昌毅：鋼製地中連続壁の水平方向曲げ剛性の評価、一中詰めコンクリートを有する鋼製地中連続壁の水平方向はり曲げ試験(その5)―、土木学会第49回年次学術講演会、1994. 9
32	石田宗弘、田崎和之、龍田昌毅、広沢規行：中詰めコンクリートを有する鋼製連壁部材(NS-BOX)の実大曲げ試験、土木学会第49回年次学術講演会1994. 9
33	山菅正人、酒井邦登、小田弘登、尾上宏一郎：狭隘地におけるシールド到達立坑での鋼製地中連続壁の計画、土木学会第49回年次学術講演会、1994. 9

資料 No	資 料 名
34	小田弘登、吉原順一、安田秀幸：感潮河川直下の雨水渠築造工事、一岩盤泥水加圧式シールドと到達立坑鋼製地中連続壁一、土木学会第49回年次学術講演会1994. 9
35	酒井邦登、勝木太、広沢規行、龍田昌毅：鋼製地中連続壁の水平方向面外曲げ性能に関する実験的研究、土木学会論文集No. 501/I-29, 1994. 10
36	広沢規行、龍田昌毅、今福健一郎、田崎和之、石田宗弘：鋼製地中連続壁の水平方向面外耐荷挙動、鉄鋼協会秋季講演会、1994. 10
37	高田幹雄、青木久勝、鷺見博由、酒井邦登、渋谷重彦：2方向版利用鋼製地中連続壁の計画と施工、一東横線複々線化工事に伴う目黒駅改良工事一、土木施工36巻3号、1995. 3
38	梶ヶ谷勝、神田憲和：下水道立坑工事における機械化施工、土木施工36巻6号、1995. 5
39	酒井邦登、渋谷重彦、高木一、高田幹雄、青木久勝：鋼製地中連続壁の2方向版的利用に関する解析的検討、第30回土質工学研究発表会、1995. 7
40	酒井邦登、渋谷重彦、勝木太、広沢規行、石田宗弘：鋼製地中連続壁の水平方向曲げ性能に関する実験的研究、第30回土質工学研究発表会、1995. 7
41	酒井邦登、渋谷重彦、鷺見博由、高田幹雄、大石良一：2方向版的利用鋼製地中連続壁の施工、第30回土質工学研究発表会、1995. 7
42	霜上民生、児玉大三郎：鋼製地中連続壁を採用した共同溝立坑の施工、土木技術50巻8号、1995. 8
43	梶ヶ谷勝、中村益美、佐藤一則：狭隘な住宅街での鋼製地中連続壁工法による大深度円形立坑の施工、土木技術50巻8号、1995. 8
44	広沢規行、今福健一郎、田崎和之、石田宗弘：鋼製地中連続壁の水平方向合成構造梁のせん断耐荷挙動、土木学会第50回年次学術講演会1995. 9
45	渋谷重彦、酒井邦登、鷺見博由、高田幹雄、大石良一、青木久勝：2方向版的利用鋼製地中連続壁の施工、土木学会第50回年次学術講演会、1995. 9
46	酒井邦登、渋谷重彦、高田幹雄、大石良一、青木久勝：鋼製地中連続壁の2方向版的利用に関する解析的検討、土木学会第50回年次学術講演会、1995. 9
47	澤本正司、斉木公嗣良、堀浩之、酒井邦登、渋谷重彦、田中卓也：鋼製地中連続壁円形立坑の施工、土木学会第50回年次学術講演会、1995. 9
48	澤本正司、斉木公嗣良、堀浩之、酒井邦登、渋谷重彦、田中卓也：鋼製地中連続壁円形立坑の計画、土木学会第50回年次学術講演会、1995. 9
49	原田正則、酒井邦登、金子一人、小田弘登、安田秀幸、室園和宏：鋼製地中連続壁立坑におけるシールド自力切削による到達工、土木学会第50回年次学術講演会、1995. 9
50	小田弘登、安田秀幸、金子一人、酒井邦登：狭隘地における鋼製地中連続壁の計画と施工、一下水道唐人第2雨水幹線築造工事一、土木技術50巻10号、1995. 10

資料 No	資 料 名
51	田崎和之、前孝一：鋼製地中連続壁工法の設計と施工、基礎工、1995. 11
52	小田弘登、安田秀幸、金子一人、酒井邦登：河川直下の岩盤をシールドで掘進、—福岡市下水道唐人第2雨水幹線築造工事—、トンネルと地下、1996. 3
53	大日向尚巳、澤本正司、斉木公嗣良、酒井邦登：円形立坑を鋼製地中連続壁で施工、—調布共同溝工事—、トンネルと地下、1996. 6
54	酒井邦登、渋沢重彦、遠藤方伯、高田幹雄、大石良一、青木久勝：鋼製地中連続壁の現場計測結果とその解析(その1：変形)、第31回地盤工学研究発表会、1996. 7
55	渋沢重彦、酒井邦登、高田幹雄、大石良一、青木久勝：鋼製地中連続壁の現場計測結果とその解析(その2：壁体応力)、第31回地盤工学研究発表会、1996. 7
56	基礎工1996年8月号：「インフォメーション 鋼製連壁工法 技術審査証明を取得」
57	酒井邦登、渋沢重彦、遠藤方伯、高田幹雄、大石良一、青木久勝：鋼製地中連続壁の現場計測結果とその解析(その1：変形)、土木学会第51回年次学術講演会、1996. 9
58	渋沢重彦、酒井邦登、高田幹雄、大石良一、青木久勝：鋼製地中連続壁の現場計測結果とその解析(その2：壁体応力)、土木学会第51回年次学術講演会、1996. 9
59	玉野富雄：最新の山留の工法、基礎工、1997. 8
60	大日向尚巳、斉木公嗣良、酒井邦登、田中卓也：鋼製地中連続壁を用いたシールド到達立坑の施工—調布共同溝No. 1到達立坑の施工事例—基礎工、1997. 8
61	大西隆、森川一弘：鋼製地中連続壁工法—地下鉄7号線伯楽橋換気口工事—基礎工、1997. 8
62	今福健一郎、田崎和之、広沢規行：モルタルを充填したパイプ状嵌合継手構造の力学的挙動、土木学会第52回年次学術講習会、1997. 9
63	田崎和之、石田宗弘、今福健一郎：鋼製連壁部材NS-BOX(GH-H)の実大曲げ試験、土木学会第52回年次学術講習会、1997. 9
64	今福健一郎、広沢規行、田崎和之、石田宗弘：鋼製地中連続壁の水平方向せん断補強部材のせん断耐荷挙動、第25回関東支部技術研究発表会、1998. 3
65	藤村三喜男、山野賢治、須藤敏明、猪狩卓哉：「柱列式地下連続壁と鋼製連壁による立坑の設計と施工例」、基礎工、1998.4
66	小林勉、鹿島隆、武藤和久：大深度鋼製地中連続壁、MM21線高島駅工区、トンネルと地下、第30巻1号、1999. 1
67	鋼・コンクリート複合構造の理論と設計(2)応用編：設計編、土木学会、1999. 4

資料 No	資 料 名
68	諸橋敏夫、金子鎮雄、舘智秀：埼玉高速鉄道赤山立坑工事、基礎工、1999. 12
69	田中慎一、菅沼忠男、熊井伸人：三田川分水施設建設工事における鋼製地中連続壁工事、基礎工、1999. 12
70	酒井邦登：タイ・バンコク地下鉄SILOM駅工事、基礎工、1999. 12
71	広沢規行、豊島徑、田崎和之、石田宗弘：鋼製地中連続壁との一体壁の鉛直方向せん断耐荷挙動について、土木学会第55回年次学術講習会、2000. 9
72	今福健一郎、広沢規行、豊島徑、田崎和之、石田宗弘：鋼製地中連続壁との一体壁の水平方向曲げ耐荷挙動について、土木学会第55回年次学術講習会、2000. 9
73	豊島徑、広沢規行、田崎和之、石田宗弘：鋼製地中連続壁との一体壁の水平方向せん断耐荷挙動について、土木学会第55回年次学術講習会、2000. 9
74	鋼：コンクリート複合構造の理論と設計(2)応用編：設計編、土木学会、2000. 5
75	高山智宏、村田清満、広沢規行、田崎和之、姉川治：鋼製連続壁を本体利用した開削トンネルの設計法、鉄道総研報告第14巻第8号、2000. 8
76	鉄道構造物等設計標準・同解説 開削トンネル、国土交通省鉄道局監修、鉄道総合技術研究所編、2001. 3
77	Minoru WADA : Otsu Discharge Channel Tunnel、Tunnelling Activities in Japan 2000、Japan Tunnelling Association.
78	渋沢重彦、田中卓也、田崎和之、石田宗弘：ソイルセメント鋼製地中連続壁その1／施工性確認実験、土木学会第56回年次学術講演会、2001. 10
79	田崎和之、広沢規行、石田宗弘、今福健一郎：ソイルセメント鋼製地中連続壁その2／床版接合部の繰り返し耐荷特性、土木学会第56回年次学術講演会、2001. 10
80	渋沢重彦、田崎和之、渡辺宏志：ソイルセメント鋼製地中連続壁工法の開発、第24回日本道路会議、2001. 10
81	Hall, J. T., Munson S. R., and Sakai,K. (2001). "Si Lom Underground Station,Bangkok, Design for Unusual Planning Challenges ", Symposium on Underground Construction of Bangkok MRT Chaloem Ratchamongkhon Line, EIT, MRTA, Bangkok, Thailand, pp. 58-68
82	創立10周年記念誌、鋼製地中連続壁協会、2002. 11
83	Sakai,K. and Tazaki,k. (2003). "Development and Applications of Diaphragm Walling With Special Section Steel - NS-BOX", Tunnelling and Underground Space Technology , Vol.18/2-3 pp. 283-289
84	田崎和之、渋沢重彦、清崎弘二、田中卓也：ソイルセメント鋼製地中連続壁の開発、基礎工、PP6 5-68、2003. 4

資料 No	資 料 名
85	Tazaki,K., Matsui,T., Hirai,M., Sakai,k. : Development Process and Application of NS-BOX Diaphragm Wall, Proceedings of The Thirteenth (2003) International Offshore and Polar Engineering Conference, pp.689-696, 2003.
86	田崎和之:鋼製地中連続壁の設計施工技術の開発に関する研究、学位論文、2003. 11
87	国土技術開発賞入賞:鋼製地中連続壁工法、土木技術、2004. 3
88	田崎和之、広沢規行、今福健一郎:鋼製連壁とコンクリート床版接合部の構造特性に関する実験的研究、土木学会論文集、No.763/VI-63、PP163-173、2004. 6
89	吉田弘明、落河和洋、清崎弘二:空頭制限下における鋼製地中連続壁工法の施工(福岡202号外環状共同溝立坑工事:高架下施工)、基礎工、2004. 11
90	地盤工学・実務シリーズ20、地中連続壁工法、地盤工学会、PP203-260、2004. 11
91	Sakai,K., Tazaki,K. and Kamenoi,T.(2006). "Development of NS-Box Diaphragm Wall and Applications to Bangkok Metro", International Symposium on Underground Excavation and Tunnelling (Urban Tunnel Construction for Protection of Environment), Bangkok, Tha
92	トンネル標準示方書 開削工法・同解説、土木学会、PP108-113、2006. 7
93	大西亮、大住元豊:都心幹線道路下の大規模換気所の大深度施工、財団法人日本トンネル協会主催第59回施工体験発表会(都市)-密集した市街地におけるトンネル工事-、PP73-80、2006. 11
94	熊谷純、塚田利彦、佐々木順一、田崎和之:ソイルセメント鋼製地中連続壁による自立式道路擁壁の施工、土木学会第62回年次学術講演会、VI-265、PP529-530、2007. 10
95	渡邊健司、齋藤純一、大住元豊:大深度開削トンネルで路下施工した地中連続壁(鋼製壁式)の設計施工、PP32-35、基礎工、2007. 12
96	佐久間誠也、大西亮、大住元豊:大深度大規模開削工事の急速施工とコストダウン、(有)日本プロジェクト・リサーチ、「大深度立坑」の急速施工とコストダウン、PP1-11、2008. 3
97	大越英昭、辻匡明、森等、葛拓造:ソイルセメント鋼製地中連続壁による地下構造物の施工、土木学会第64回年次講演会、2009. 10
98	大越英昭、辻匡明、森等:ソイルセメント鋼製地中連続壁による地下構造物の施工、鋼構造年次論文報告集、18巻、PP181-184、2010.11
99	藪本篤、長田光正、井上隆広:ソイルセメント鋼製地中連続壁の本体利用およびスラブ接合部に関する実験検討、トンネル工学報告集大20巻、PP359-366、2010. 11
100	佐久間誠也:最近の土留め・仮締切り工法の特徴と課題、PP6-10、基礎工、2012. 3
101	葛拓造:ソイルセメント鋼製地中連続壁工法による山留め・立坑への適用、基礎工、PP151-154、2011. 9

資料 No	資 料 名
102	創立20周年記念誌、鋼製地中連続壁協会、2012. 6
103	葛拓造：地中連続壁を本体として用いる場合の施工上の留意点、基礎工、PP26-29、2013. 6
104	村田隆志：都市部におけるCSM工法による鋼製連壁の施工、基礎工、PP-36-38、2013. 6
105	佐久間誠也、佐々木順一、前田博司：仙台北四番丁大衝線自立式道路擁壁の施工、基礎工、PP45-47、2013. 6
106	玉田康一、岩住知一、生川寛之、大島正資：壁厚1.7m鋼製地中連続壁を本体利用した施工事例、基礎工、PP-42-44、2013. 6
107	友廣裕亮、久保寺家光、宮元克洋：谷津船橋IC OFFランプにおける鋼製連壁の施工－東関東自動車道谷津船橋インターチェンジ工事－、基礎工、PP39-41、2013. 6
108	佐藤重孝、佐々木俊伸：国道1号線直下の立坑工事－横浜湘南道路藤沢立坑工事－、土木施工、2015.11
109	坂本 守、石井健嗣、吉迫和生、松井雅紀、矢野孝司、板橋信男：流動化処理土を利用する鋼製地中連続壁工法の施工実績(その1：流動化処理土の品質管理手法の提案)、土木学会第71回年次学術講演会、2016. 9
110	松井雅紀、坂本 守、吉迫和生、齋藤 茂、矢野孝司、板橋信男：流動化処理土を利用する鋼製地中連続壁工法の施工実績(その2：流動化処理土の充填性確認試験)、土木学会第71回年次学術講演会、2016. 9
111	板橋信男、矢野孝司、岩月章浩、齋藤 茂、松井雅紀、石井健嗣、池田祐介：流動化処理土を利用する鋼製地中連続壁工法の施工実績(その3：MPD-TMX 工法による施工実績)、土木学会第71回年次学術講演会、2016. 9
112	筧 哲志、清田 奨、中岡 淳、迫 綾子：都市部において本体兼用の鋼製地中連続壁(工法Ⅱ)を用いた開削トンネル工事に関する報告、西松建設技報 VOL.39 2016
113	田嶋仁志、森田大介、中川雅由、井上隆弘、米沢実、佐久間誠也：トンネル・地下空間構造を支える鋼材及び構造・施工法、日本鉄鋼協会会報ふえらむ、Vol.21、No.12、2016
114	筧 哲志：本体兼用鋼製連壁の地下トンネル築造工事、建設機械施工、Vol.69、2017.2
115	岩下直樹：相鉄東急直通線新横浜駅地下鉄交差部土木工事、DOBOKU技士会東京、第70号、p.10-15、2017.7
116	下屋敷覚弘、白鳥喜之、今岡知武：竹原火力新1号機設備更新工事ポンプ場工事における土留め壁の本体利用と地盤改良基礎の採用、電力土木 No393、2018.1
117	馬場崎 宗之助、荒木 尚幸、桑嶋健、武野正和：鋼製地中連続壁 二重梁モデルによる重ね壁の設計方法の検証、土木学会第73回年次学術講演会、2018. 8
118	岩下直樹、板橋信男、山本彰貴：厳しい空頭制限下における鋼製地中連続壁の施工、基礎工 Vol.47, No.3, 2019

資料 No	資 料 名
119	下屋敷覚弘、大内田崇享、吉岡 健:竹原火力新1号機設備更新工事ポンプ場工事における土留め本体利用設計の妥当性評価、電力土木 No402、2019.7
120	辻本 真、柄澤正芳:新横浜駅(仮称)における鋼製地中連続壁Ⅱ型の本体利用の設計及び施工について—相鉄・東急直通線 新横浜駅(仮称)—、土木施工第60巻11号、2019.11
121	太知 俊一郎、樋口 武志:都市部における鋼製地中連続壁の施工—相鉄・東急直通線 新綱島駅(仮称)—、土木施工第60巻11号、2019.11
122	森 暢典:木場駅におけるホーム・コンコースの拡幅の大規模改良—東西線木場駅改良土木工事—、土木施工第60巻11号、2019.11
123	公益社団法人 土木学会:モリナガ・ヨウの土木まくのうち、土木学会誌第104巻11号、2019.11
124	高磯徹、宮本裕、山本利史:重要構造物等に近接する開削トンネル工事～国道26号交差部、大和川堤防及び民地に近接した施工事例～、土木施工第61巻4号、2020.4
125	嶺岸和貴、市川 督人、青山 武史、坪井 広美:壁厚2mの鋼製連壁工事におけるNOMST芯材の現場接合、土木学会第75回年次学術講演会講演概要集, Vol.75, VI-964, 2020.9
126	川越 建嗣、藤原 周平、古川 耕平、佐々木 俊伸:大形芯材を用いた鋼製地中連続壁工法の施工実績、土木学会第76回年次講演会、2021.9